

令和8年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	伊波 桂		
教科書名	新しい技術・家庭科 技術分野		
副教材	技術家庭ハンドノート、学習用端末(iPad)		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭)科の目標と評価について

教科の目標	(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の観点	【知識・技能】 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、
方 法 評 価	○単元テスト、提出課題の内容、製作品(知識・技能) ○単元テスト、提出課題の内容、製作品、ふりかえりシート(思考・判断・表現) ○授業への取り組み姿勢の観察、ノート記述、ふりかえりシートの内容、ノートやふりかえりシートなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度) ☆授業内にて単元テストを実施します。

2 (技術・家庭)科の学習について

進 授 業 方 法	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・技術室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
テ 単 元	○単元テストは全2回予定しています。 ○授業で取り組んだ内容から出題(教科書、ノート中心) ○授業内でやり取りした内容、板書内容から出題 ○教科書、ノート、各課題などしっかり見直して、材料と加工の技術に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習してください。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術①		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	生活や社会を支えている材料と加工の技術について理解している。	身の回りの製品の材料と加工について調べ、まとめている。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト	ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	4月、テスト時	4月	4月	
4月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術②		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	材料の特性と加工方法について理解している。		学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	4月、テスト時		4月	
4月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術③		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	身の回りの製品を丈夫にするための技術の工夫について理解している。		学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	4月、テスト時		4月	
5月	単元名(題材名)	生活や社会を支える材料と加工の技術④		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、技術の「見方・考え方」に気付くことができる。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法		ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面		5月	5月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

5.6月	単元名(題材名)	材料と加工の技術による問題の解決①		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	製作に必要な図の役割や描き方を知り、表すことができる。	○技術の「見方・考え方」を働かせて、問題を見だし、自分なりの課題を設定している。 ○構造の選択や成形方法を構想し、見方・考え方を働かせて設計を具体化している。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つめようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	ノート ワークシート	ノート ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	5.6月	5.6月	5.6月	
7.8.9月	単元名(題材名)	材料と加工の技術による問題の解決②		指導時数	15
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	安全・適切な製作や検査・修正ができる技能を身に付けている。	製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正点を見だし見方・考え方を働かせて設計を具体化している。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つめようとしている。または、材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	作品 単元テスト	製作活動シート	ふりかえりシート 製作活動シート	
	評価時期及び評価場面	7.8.9月、テスト時	7.8.9月	7.8.9月	
10月	単元名(題材名)	これからの材料と加工の技術		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	材料と加工の技術の概念について理解している。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	
	評価方法	ノート ふりかえりシート	ワークシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	10月	10月	10月	
	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和8年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	伊波 桂		
教科書名	新しい技術・家庭科 技術分野		
副 教 材	生物育成・エネルギー変換ノート、学習用端末(iPad)		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭)科の目標と評価について

教科 目 標 の	<p>(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理 解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評 価 の 観 点 の	<p>【知識・技能】 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を</p>
方 評 法 価 の	<p>○単元テスト、提出課題の内容、製作品(知識・技能)</p> <p>○単元テスト、提出課題の内容、製作品、ふりかえりシート(思考・判断・表現)</p> <p>○授業への取り組み姿勢の観察、ノート記述、ふりかえりシートの内容、ノートやふりかえりシートなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>☆授業内にて単元テストを実施します。</p>

2 (技術・家庭)科の学習について

進 授 め 業 方 の	<p>・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。</p> <p>・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。</p> <p>・技術室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。</p>
テ 単 元 ス ト	<p>○単元テストは全2回予定しています。</p> <p>○授業で取り組んだ内容から出題(教科書、ノート中心)</p> <p>○授業内でやり取りした内容、板書内容から出題</p> <p>○教科書、ノート、各課題などしっかりと見直して、材料と加工の技術に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習してください。</p>

3 年間指導計画（その①）

10月	単元名(題材名)	生活や社会を支える生物育成の技術①		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○生活や社会を支えている生物育成の技術について理解している。 ○生物の育成環境を調節する技術や健康に育成する技術などについて理解している。		学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	10月 テスト時		10月	
10月	単元名(題材名)	生活や社会を支える生物育成の技術②		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		生物育成の技術の問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法		ノート ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面		10月	10月	
11月	単元名(題材名)	生物育成の技術による問題解決		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	生物の成長の状態に合わせて、安全・適切な管理作業ができる知識や技能を身につけている。	解決策を構想し、目的に合わせて育成計画を立てることができる。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	単元テスト	ノート 単元テスト	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	11月 テスト時	11月 テスト時	11月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その②）

11月	単元名(題材名)	社会の発展と生物育成の技術		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解しようとしている。	生物育成の技術の最適化について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。	
	評価方法	ノート ふりかえりシート	ノート ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	11月	11月	11月	
12月	単元名(題材名)	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術①		指導時数	7
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○生活や社会を支えているエネルギー変換の技術について理解している。 ○発電の仕組みと特徴について理解している。 ○簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身につけている。	○発電・送電・配電の技術の工夫について考えている。 ○電気による事故を防ぐ方法について考えている。	学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を活かし、生活と技術の関わりを見つけようとしている。または、エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	ノート 単元テスト	ふりかえりシート 単元テスト	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	12月 テスト時	12月 テスト時	12月	
12.1月	単元名(題材名)	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術②		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○運動の種類とエネルギー変換について理解している。 ○機械が運動を伝える仕組みについて理解している。		学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を活かし、生活と技術の関わりを見つけようとしている。または、エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。	
	評価方法	ノート 単元テスト		ふりかえりシート	
評価時期及び評価場面	12.1月 テスト時		12.1月		

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

3 年間指導計画（その③）

1.2月	単元名(題材名)	エネルギー変換の技術による問題解決		指導時数	11
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	安全・適切に電気回路を製作し、筐体などに取り付け技能を身につけている。	完成した製作品が課題を解決できたかを評価することができる。	自らの問題解決の過程を振り返り、改善・修正しようとしている。	
	評価方法	単元テスト 製作品	製作実習シート	製作実習シート	
	評価時期及び評価場面	1.2月	1.2月	1.2月	
3月	単元名(題材名)	社会の発展とエネルギー変換の技術		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	これまでの学習とエネルギー変換の技術が果たす役割や影響を踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を説明することができる。	持続可能な社会の実現を目指して、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方や新たな発想に基づき改良、応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。	
	評価方法	ふりかえりシート	ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	3月	3月	3月	
月	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和8年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	技術・家庭科 技術分野
教科担当	伊波 桂		
教科書名	新しい技術・家庭科 技術分野		
副教材	情報ノート、学習用端末(iPad)		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点か3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術・家庭)科の目標と評価について

教科の目標	(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の観点	【知識・技能】 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 生活や社会の中から技術に関わる課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、
評価方法	○単元テスト、提出課題の内容、製作品(知識・技能) ○単元テスト、提出課題の内容、製作品、ふりかえりシート(思考・判断・表現) ○授業への取り組み姿勢の観察、ノート記述、ふりかえりシートの内容、ノートやふりかえりシートなどの提出状況や内容(主体的に学習に取り組む態度)

2 (技術・家庭)科の学習について

進授業方の	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてノートに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・技術室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
単元テスト	○単元テストは全2回予定しています。 ○授業で取り組んだ内容から出題(教科書、ノート中心) ○授業内でやり取りした内容、板書内容から出題 ○教科書、ノート、各課題などしっかり見直して、情報の技術に関する様々な語句やパソコンやiPadの使い方、作業手順を復習してください。

3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	情報の技術の原理・法則と仕組み①		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<p>○情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。</p> <p>○コンピュータの仕組みと基本の機能について理解している。</p> <p>○情報のデジタル化の仕組みについて理解している。</p>		<p>学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、情報の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。</p>	
	評価方法	ふりかえりシート 単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	4月 テスト時		4月	
5月	単元名(題材名)	情報の技術の原理・法則と仕組み②		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	<p>○情報通信ネットワークの仕組みや情報モラル、情報セキュリティ等について理解している。</p>		<p>学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、情報の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。</p>	
	評価方法	ふりかえりシート 単元テスト		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	5月 テスト時		5月	
6月	単元名(題材名)	情報の技術の原理・法則と仕組み③		指導時数	1
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)		<p>技術の見方・考え方を働かせて身近なシステムや自動化の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。</p>	<p>学習した知識や技能、身についた思考力・判断力・表現力を生かし、生活との関わりを見つけようとしている。または、情報の技術の見方・考え方を働かせて、技術をとらえようとしている。</p>	
	評価方法		ふりかえりシート	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面		6月	6月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合があります。

3 年間指導計画（その②）

6.7.9.10月	単元名(題材名)	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	○基礎的なプログラムの制作ができる。 ○プログラムの処理の方法を理解し、適切なプログラムの製作や動作の確認ができる。	○基本プログラムを体験し、2つ以上の技術の見方・考え方を働かせ、問題点を見出して解決策を考えることができる。 ○プログラミングの手順を整理し、アクティビティ図で表現することができる。	情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、自分なりの解決策を構想して粘り強く、制作に取り組もうとしている。または、活動内容を振り返り、次時の学習の見通しを立て、取り組もうとしている。	
	評価方法	製作品 単元テスト	ふりかえりシート 製作品	ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	6.7.9.10月 テスト時	6.7.9.10月 テスト時	6.7.9.10月	
10.11.12月	単元名(題材名)	計測・制御のプログラミングによる問題解決		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	計測・制御システムの基本的な構成とプログラムの役割について理解している。		情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、自分なりの解決策を構想して粘り強く、制作に取り組もうとしている。または、活動内容を振り返り、次時の学習の見通しを立て、取り組もうとしている。	
	評価方法	ふりかえりシート		ふりかえりシート	
	評価時期及び評価場面	1.2月		1.2月	
月	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面	10月	10月	10月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。